

## 情報名:標準補修塗装マニュアル 下地編

工程	作業内容	使用材料
1	洗車 入庫後、作業を開始する前に洗車してください。 ・中性洗剤を用いて洗車し、汚染物を除去し、ワックスオフメリットなどでワックスなどを除去して下さい。	ワックスオフメリットなど
2	旧塗膜の確認 ダメージ部をサンディングし、補修歴を確認します。 (塗膜保証の判定にも必要です)	
3	下地処理 ダメージ部をサンディングし旧塗膜を剥離、 フェザーエッチングを取ります。 フェザーエッチング周辺をやや広く足つけ研磨します。	P60～P120(旧塗膜剥離) P240～P320(フェザーエッチング)
4	脱脂 除塵後、ワックスオフメリットなどで脱脂をしてください。 密着に大きく影響しますので、丁寧に2度拭きしてください。	ワックスオフメリットなど
5	パテ付け 指定パテを使用し、パテ付けしてください。 ・ダメージの大きさ・深さによりパテを選定してください。 P80・P120・P180・P240 など ・パテ使用前に缶の中を十分に攪拌してください。 ・ペーストは2～3%の範囲で添加し十分に混合してください。 (但し、ラクーダパテは1.5%から使用可能です) ・パテ付けは、しごき付けをした後塗り重ねてください。 ・強制乾燥の場合はパテがゲル後60℃以下で乾燥	らく研ぎパテ ストロングパテ ハイテンパテ ラクーダパテ カタログ参照
6	パテ研磨 パテが乾燥後、研磨を行い、ひずみ取りを行ってください。 ・ペーパーは、ご使用パテにより使い分けてください。 ・巣穴がある場合は、拾いパテを行ってください。 ・フェザーエッジ・足つけ研磨は、P240～P320 ペーパーで十分に滑らかになるように研磨してください	P80～P320 ペーパー カタログ参照
7	脱脂 除塵後、ワックスオフメリットなどを使用し脱脂をしてください。	ワックスオフメリットなど
8	拾いパテ 巣穴がある場合は、拾いパテを実施してください。 ・拾いパテで、巣穴をしごくようにパテ付けしてください。	マジック拾いパテ らく研ぎパテ 180、240 ストロングパテ 180 ハイテンパテ 180 ラクーダパテ 180
9	研磨 パテが乾燥後、十分に研磨してください。 ・拾いパテ研磨と同時に、プラサフ塗装予定部よりやや広く、 ペーパーP240～P320 ペーパーで研磨してください。	P240～P320 ペーパー
10	脱脂 除塵後、ワックスオフメリットなどを使用し脱脂をしてください。	ワックスオフメリットなど
11	プラサフ 塗装 2液プラサフを使用し、塗装してください。 ・硬化剤とシンナーは各製品指定の比率で調合・希釈し十分に攪拌してご使用ください。 ・一度に厚塗りを避けインターバルを取り塗り重ねてください ・可使時間以内にご使用ください。	ウルトラサフC ウルトラサフ LV プラサフ カタログ参照
12	プラサフ 乾燥 乾燥はセッティングを取り、十分に乾燥させてください。 60℃×15分以上 または室温(20℃)×2時間以上	カタログ参照
13	プラサフ 研磨 プラサフ研磨は研ぎ残のないように、研磨してください。 ・水研ぎペーパー番手は、上塗りにより使い分けてください。 ・パテ及びサフのボカシ際の研磨は、充分に行ってください。 ・水研後、水分を十分に乾燥させてください。	P400～P800 ペーパー
14	脱脂 ワックスオフメリットなどを使用し脱脂をしてください。	ワックスオフメリットなど